

## 平成25年度推進状況・中間評価等の概要等

### <各圏域の主なトピック>

- 東北圏 (P2)** 自動車産業の拠点形成や観光振興等に係る各種取組を実施。計画策定当初より、**製造品出荷額が14%増加**(H20→H24)、**延べ宿泊者数が13%増加**(H20→H25)。
- 首都圏 (P3)** 国際線着陸回数が**成田空港では4,500回、羽田空港では1,757回増加**(H23→H24)するなど、国際競争力の強化に向けて、ゲートウェイとなる空港の機能強化の取組が前進。
- 北陸圏 (P4)** 伏木富山港のコンテナ取扱量(内貿含む)が**約1.7万TEU増加**(H20→H25)するなど、日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化の取組が前進。
- 中部圏 (P5)** 新東名高速道路の整備や富士山静岡空港の開港、名古屋空港の機能強化などの基盤整備が進展。静岡県の**工場立地件数は、新東名高速道路開通前の約2倍の77件**に増加(H23→H25)。
- 近畿圏 (P6)** **神戸医療産業都市における立地企業数が68件増加**(H23.3→H26.3)するなど、アジア・世界を先導する次世代産業の集積地としての知の拠点形成に向けた取組が進展。
- 中国圏 (P7)** ものづくり産業等を中心とした圏域の経済的自立基盤の強化のため、補助金等を活用した各種研究開発等を推進。**ものづくり関連の技術開発事業の支援数は、平成25年度では169件となり、対前年度比10件増加**。
- 四国圏 (P8)** 農外企業参入セミナー等の開催や就農支援の実施により、**農業生産法人数は15法人増加**(H24.1→H25.1)、**新規就農者数は138人増加**(H23→H24)。
- 九州圏 (P9)** 九州圏が一体となって「観光アイランド・九州」として、成長するアジアのマーケットの観光客の取り込み等を推進。**外国人の入国者数が16万人増加**(H24→H25)し、**過去最高の121万人**(H25)を記録。

## <平成25年度 広域地方計画の推進状況>

東北圏では、「地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現」に向け、計画策定当初より自動車産業の拠点形成や観光振興等に係る各種取組を着実に実施。東日本大震災による影響で一時的停滞は見られたものの、こうした取組の継続により、産業復興の兆しが見え始めている。

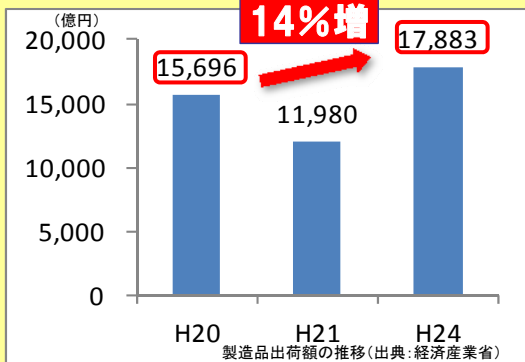
### 製造業の振興

- 地域自動車関連企業等からなる「イノベーション創出会議」を発足
- とうほく自動車産業集積連携会議および各県主催の商談会開催
- 物流拠点の整備(仙台塩釜港仙台港区での複合一貫ターミナル改良事業の完了、常磐自動車道の整備等)

計画策定以前より製造品出荷額が**14%増加**



▲とうほく自動車産業集積連携会議主催商談会「とうほく6県新技術・新工法展示商談会」(岩手県提供)



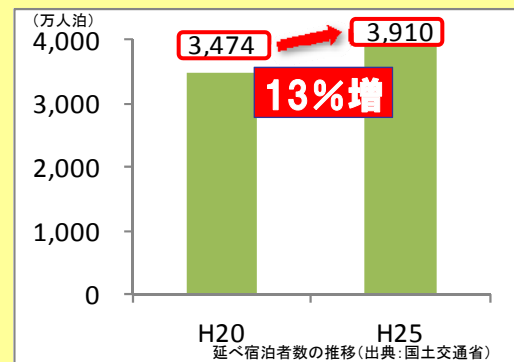
### 観光交流の振興

- 体験型観光メニューの検討・造成や観光ボランティアガイド育成研修会の実施
- 官民一体となったポートセールスやJR東日本等との連携によるプロモーション活動、外国人観光客に対応した環境整備

計画策定以前より延べ宿泊者数が**13%増加**



▲香港国際旅行博における地域産品PR ((一社)東北経済連合会提供)



## <東日本大震災を踏まえた東北圏広域地方計画の検証・点検結果(12の課題)に関する取組状況>

東日本大震災への対応から得た貴重な教訓や課題から新たに抽出した『12の課題』について、**具体的な取組内容を整理・把握**。引き続き、被災地復興と災害対策の強化を図るべく、広域的な連携を一層推進。

### 取組の内容・方向性 (例:課題「広域的な機能分担を踏まえた広域的な地域間連携の推進、協力体制の構築」)

- 同時被災リスクが小さい遠隔地との連携強化、災害時の支援計画や受援計画の策定や、広域避難者の受入等も想定した広域合同訓練の実施
- 緊急物資供給・配送、民間賃貸住宅提供、帰宅困難者の受入など多様な分野との協定締結推進
- 災害対応に習熟した人員応援体制の充実強化や資機材等の準備、地域建設業者との連携

# 【首都圏】

## <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

首都圏では、複数のプロジェクトに関連する首都圏3環状道路の整備が進められていることにより、住民の暮らしやすさ向上はもとより、経済産業、防災等の様々な面において、本計画の戦略目標達成に向け前進が見られる。

方針2「人口約4,200万人が暮らしやすく、美しい地域の実現」の達成に向けた取組

具体的取組例 **首都圏3環状道路の整備推進による首都圏の移動性の向上**(関東地方整備局)

3環状道路の整備進捗状況

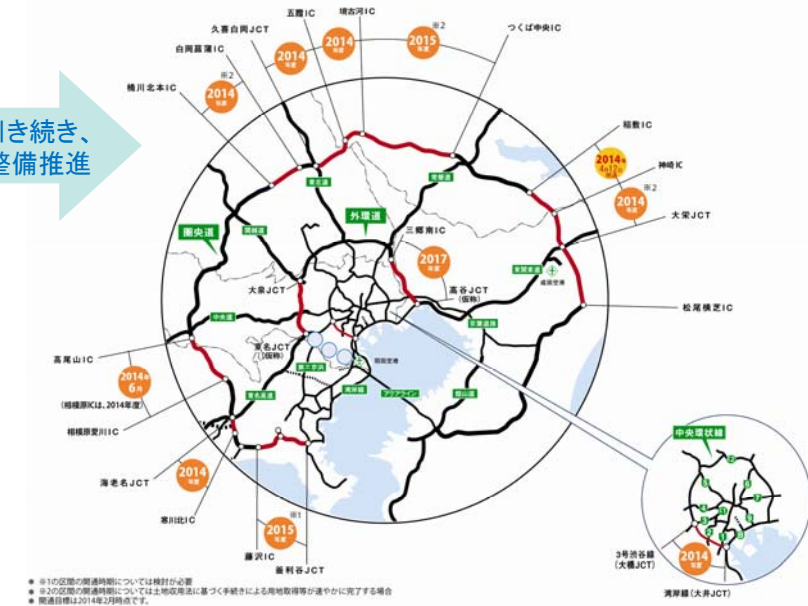
時期	開通区間
H21年度	【中央環状線】・山手トンネル(3号渋谷線~4号新宿線) 【圏央道】・海老名JCT~海老名IC間 ・川島IC~桶川北本IC間
H22年度	【圏央道】・つくば中央IC~つくばJCT間
H23年度	【圏央道】・白岡菖蒲IC~久喜白岡JCT間 ・高尾山IC~八王子JCT間
H24年度	【圏央道】・海老名IC~相模原愛川IC間
H25年度	【圏央道】・茅ヶ崎JCT~寒川北IC間 ・東金JCT~木更津東IC間

- 渋滞緩和
  - 物流の効率化
  - 観光の支援
- 効果 など様々な効果

【圏央道(東金JCT~木更津東IC間)の開通】

千葉県内の主な観光施設におけるH25GW期の観光入込客数は、前年比 **27.6%増加**

### 【3環状道路の開通目標】



## <平成25年度広域地方計画の推進状況>

首都圏では、国際競争力の強化に向けて、ゲートウェイとなる各港湾・空港の機能強化や、国際定期便等の誘致、また、港湾・空港へのアクセス向上のための道路ネットワークの整備等、多くの構成機関が様々な取組を実施。

(プロジェクトの推進状況の一例)

◆ **太平洋・日本海ゲートウェイプロジェクト**

モニタリング指標「国際線着陸回数」の推移

成田空港・・・4,500回 **増加**  
羽田空港・・・1,757回 **増加**

(H23年度→H24年度)



### <H25年度 具体的取組>

- 成田空港では平行滑走路の北伸等、羽田空港では再拡張後の更なる空港機能の強化に向けた滑走路延伸事業等を行い、国際線発着回数の **3万回増加を実施** (東京航空局)
- 茨城空港等におけるローコストキャリアを含む **国際定期便等の誘致** (茨城県等)

## <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

北陸圏では、「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」を目標に、「伏木富山港(新湊地区)多目的国際ターミナルの整備」を推進した結果、同港の外貨コンテナ取扱量が増加し、圏域の千人当たり貿易額が増加するなど、日本海側の中枢拠点としての機能が向上。

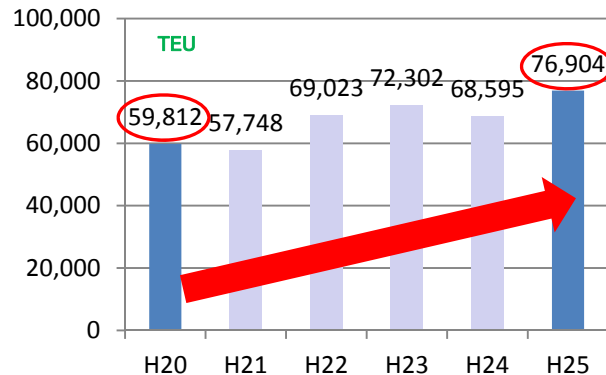
【伏木富山港(新湊地区)】



伏木富山港のコンテナ取扱量(内賃含む)

約1.7万TEU増加

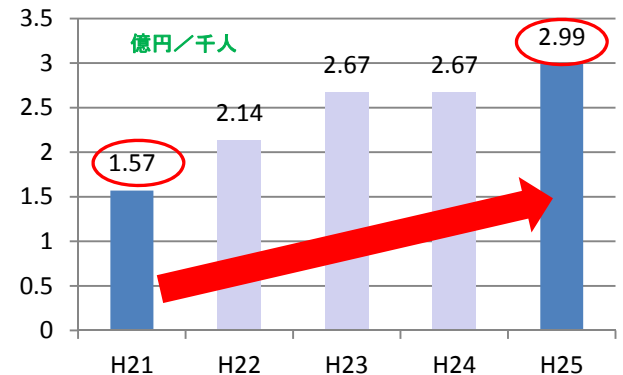
H20→H25



千人当たり貿易額の推移

90.4%増加

H21→H25



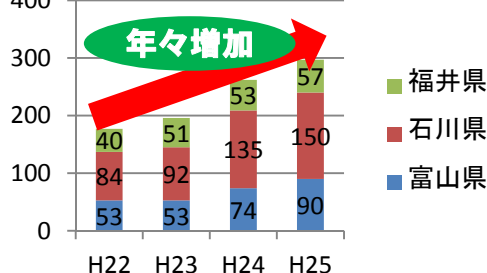
## <平成25年度広域地方計画の推進状況>

北陸圏では、各県で新規就農者に対する進出支援を行い、また、条件不利地の農業を応援する地域農業サポート事業等に取り組むなど、食糧供給力増強に向けた取組を推進。

【具体的取組(例):石川県】

- ・就農相談会の開催(就農希望者向け)
- ・6次産業化研修(農業者向け)
- ・農業体験等(教育者向け)
- ・駅前アカデミー(一般県民向け)

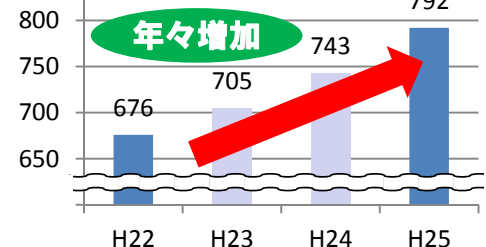
各県の取組を通じた新規就農者数



【具体的取組(例):福井県】

県・市町・JA等で構成する「地域農業サポートセンター」を中心に条件不利地の農業を応援する地域農業サポート事業に平成21年度から継続的に取組んだ。

地域農業サポート体制に基づいて農業を行う集落数



## <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

中部圏では、ものづくり産業の活用や環境貢献により「日本のまんなか」から「世界のまんなか」として、全世界に向けて新たな価値を発信する圏域を目指し、様々な取組が展開されており、将来像達成に向け前進が見られる。

<h3>賑わいあふれる国際交流圏・多文化交流圏</h3> <p>新東名高速道路の整備や富士山静岡空港の開港、名古屋港の機能強化など日本のまんなかに対応しい基盤整備が進展</p> <p>(プロジェクトの推進状況の一例)</p> <h4>◆高次都市機能・連携強化プロジェクト</h4> <p><b>静岡県の平成25年の工場立地数 開通前の約2倍の77件に増加(全国6位の立地数)。(H23年→H25年)</b></p> <p>■静岡県の工場立地件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>立地件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：経済産業省「平成25年(1~12月)における工場立地動向調査について(速報)」平成25年9月</p>	年度	立地件数	H21	44	H22	41	H23	37	H24	73	H25	77	<h3>人々が生き生きと安心して暮らすことが出来る持続可能な環境先進圏</h3> <p>・自然環境を未来に継承できる地域づくりや、地球温暖化防止の推進と循環型圏域の推進に向け進展</p> <p>(プロジェクトの推進状況の一例)</p> <h4>◆低炭素社会実現プロジェクト</h4> <p><b>低公害車の導入率の推移</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■約10%増加 (H21年→H23年)</li> <li>■導入率50%超 (H23年)</li> </ul> <p>■低公害車導入率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>低公害車数(万台)</th> <th>導入率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>264</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>301</td> <td>36.8%</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>332</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>371</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>405</td> <td>51.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【出典】中部運輸局：数字で見る中部の運輸</p>	年度	低公害車数(万台)	導入率(%)	H19	264	31.8%	H20	301	36.8%	H21	332	41.4%	H22	371	46.7%	H23	405	51.3%
年度	立地件数																														
H21	44																														
H22	41																														
H23	37																														
H24	73																														
H25	77																														
年度	低公害車数(万台)	導入率(%)																													
H19	264	31.8%																													
H20	301	36.8%																													
H21	332	41.4%																													
H22	371	46.7%																													
H23	405	51.3%																													

## <平成25年広域地方計画の推進状況>

中部圏では、観光交流の中核拠点の役割を担うため、中華圏及び東南アジアからの訪日外国人客の誘致を図る昇龍道プロジェクトが北陸圏を含めた中部9県で展開されるなど観光誘客に向けた取組を推進。

<p>(プロジェクトの推進状況の一例)</p> <h4>◆昇龍道プロジェクト(北陸圏との連携プロジェクト)</h4> <p>モニタリング指標「外国人延べ宿泊者数」の推移</p> <p><b>中部圏・北陸圏・・・726千人泊増加 (前年比 約1.3倍)</b></p>	<h3>外国人延べ宿泊者数</h3> <p>■外国人延べ宿泊者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延べ宿泊者数(北陸圏)</th> <th>延べ宿泊者数(中部圏)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>280</td> <td>1,922</td> <td>2,202</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>466</td> <td>2,462</td> <td>2,928</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：長野県：長野県観光地利用者統計調査結果、岐阜県：岐阜県観光入込客統計調査、静岡県：静岡県観光交流の動向、愛知県：愛知県観光レクリエーション利用者統計、三重県：三重県統計書、富山県：富山県観光客入込数、石川県：統計からみた石川県の観光、福井県：福井県観光客入込数</p>	年度	延べ宿泊者数(北陸圏)	延べ宿泊者数(中部圏)	合計	H24	280	1,922	2,202	H25	466	2,462	2,928	<h3>&lt;H25年度 具体的取組&gt;</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して、台湾市場向け(台北)、タイ市場向け(バンコク)へのプロモーション活動を実施。</li> </ul> <p>【出典】中部運輸局資料</p>
年度	延べ宿泊者数(北陸圏)	延べ宿泊者数(中部圏)	合計											
H24	280	1,922	2,202											
H25	466	2,462	2,928											

## <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

近畿圏では、「神戸医療産業都市における立地企業数」の増加など、アジア・世界を先導する次世代産業の集積地としての知の拠点形成に向けた取組が進展。また、国際コンテナ戦略港湾である阪神港(神戸港・大阪港)の機能強化の取組の成果として、「大阪港におけるコンテナ取扱貨物量」が増加するなど、国際物流機能の集積に向けた取組が前進。

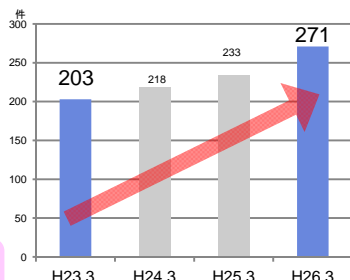
【神戸医療産業都市における立地企業数】

**68企業増加**

203企業(H23.3) → 271企業(H26.3)



iPS細胞による世界初の臨床研究である網膜治療等の再生医療の研究を実施。

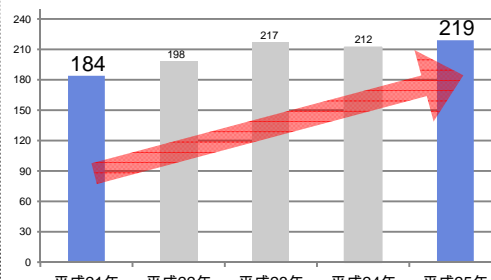


【神戸医療産業都市における立地企業数(累計)】

【大阪港におけるコンテナ取扱貨物量】

**35万TEU増**

184万TEU(H21) → 219万TEU(H25)



【大阪港における外買コンテナ取扱貨物量の推移(万TEU)】

阪神港における機能強化の取組

- ・大阪港夢洲地区でコンテナターミナル(連続3パース)の一体供用
- ・神戸港ポートアイランド(第2期)地区で大水深岸壁の供用
- ・内航フィーダー輸送網の拡充(モデル事業)など



内航フィーダー船

## <平成25年度広域地方計画の推進状況>

近畿圏では、外国人観光客の誘致の取組により外国人来訪者数や観光宿泊者数が増加。関西への観光需要を拡大する取組が前進。また、うめきた、あべのハルカスの開業等により都市の賑わいを創出する取組も前進。

【関西への外国人来訪者数】

**726万人増加**

2,725万人(H24) → 3,451万人(H25)

【関西の観光宿泊者数】

**197万人増加**

2,920万人(H24) → 3,117万人(H25)

【ファミトリップ※の取組】



※観光地等の誘客促進のため、旅行環境事業者を対象に現地視察を実施するツアー

【うめきた、あべのハルカスの開業】

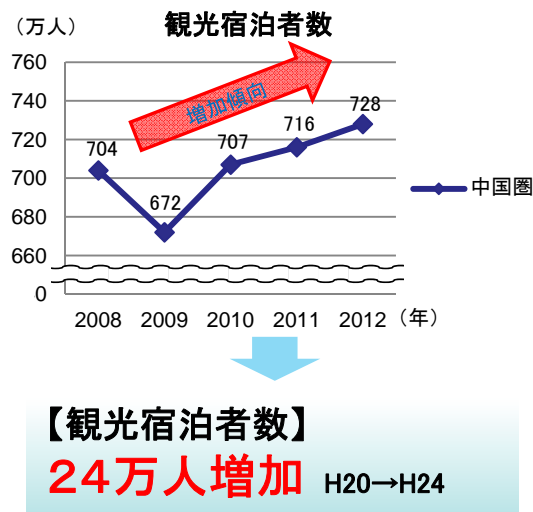


【屋外広告物の適正化(京都市)】



# <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

中国圏では、観光のためのまちづくりや大型イベントの開催、広域道路網の整備等により、出雲・松江地域を中心に観光客が増加するなど、「世界や他圏域と交流し、開かれた圏域づくりの取組」が前進。



## 【具体的取組・効果】

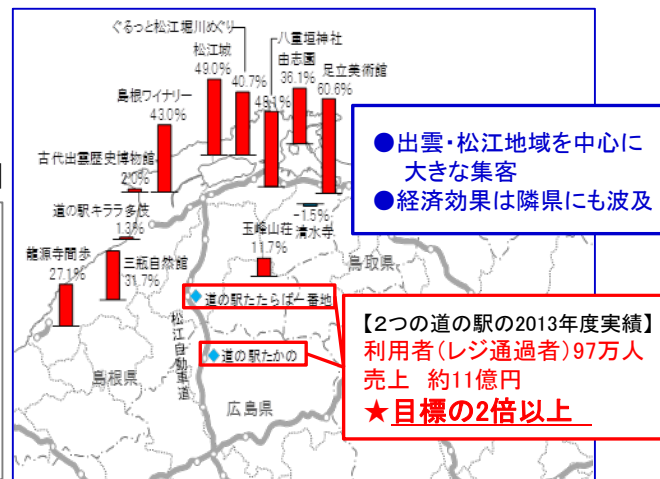
- ◆ 出雲大社の大遷宮にあわせ、観光案内所を開設
- ◆ 伝統文化・歴史をアピールする「神話博しまね」を開催



## ▼「神話博しまね」特設会場【H24年度】



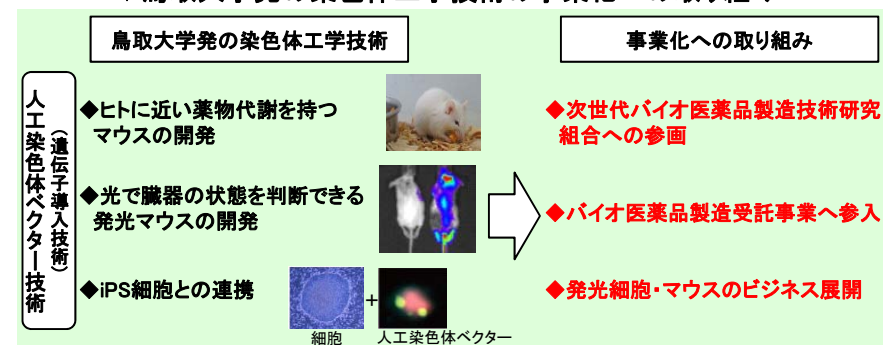
## ▼松江自動車道の開通等による経済効果【H24年度】



# <平成25年広域地方計画の推進状況>

中国圏では、「ものづくり産業等を中心とした圏域の経済的自立基盤の強化」のため、補助金等を活用した各種研究開発等を推進。その結果、戦略的基盤技術高度化支援事業をはじめとした、ものづくり関連の技術開発事業の支援数は増加。また、次世代産業の創出に向けて、バイオテクノロジー分野等の事業化支援を推進。

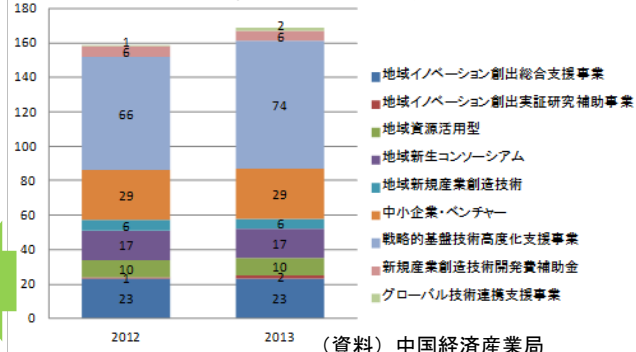
## ▼鳥取大学発の染色体工学技術の事業化への取り組み



## 【ものづくり関連の技術開発支援事業】

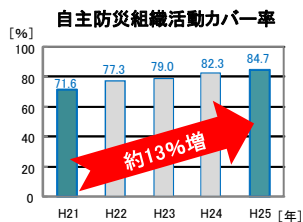
**169件**  
(対前年度比10件増加)

## ものづくり関連の技術開発事業支援数

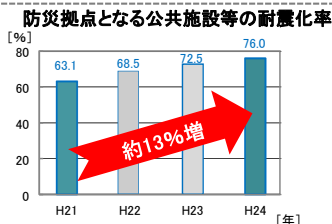


# <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

**四国圏**では、自主防災組織活動カバー率や防災拠点となる公共施設等の耐震化率が向上し、ハード・ソフト面での防災強化が進展。また、台風・豪雨災害や地震災害の軽減に向けた交通・情報ネットワーク機能の強化(四国8の字ネットワークの整備等)を実施するなど、「安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国」を推進。



【自主防災組織カバー率】  
**約13%増加** H21→H25



【防災拠点となる公共施設等の耐震化率】  
**約13%増加** H21→H24

東日本大震災以降、住民の災害に対する意識が高まっており、南海トラフ地震対策、防災・減災に向けた動きが活発ことから、**防災関連の取組みは進展している。**

四国8の字ネットワークの一部を形成する高知東部自動車道(香南のいちIC～香南かがみIC)が平成26年3月開通



▲四国8の字ネットワークの整備率

# <平成25年広域地方計画の推進状況>

**四国圏**では、農外企業参入セミナー等の開催や就農支援の実施により、農業生産法人数の増加や新規学卒者やUターン就農者等が増加するなど、具体的取組を通じて「南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト」が進展。

## 具体的取組 (南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト)

- ◆農山漁村の6次産業化に向けた取組の推進
- ◆「とくしまアグリビジネススクール」による農業者の経営スキル向上の取組
- ◆香川県による農外企業参入セミナー等の開催
- ◆徳島県「阿波とん豚」の開発、香川県「オリーブ牛」のブランド確立を推進

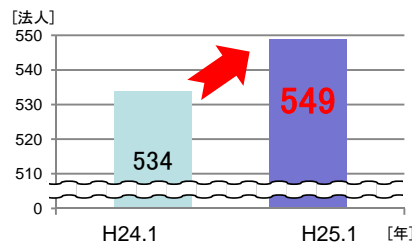


6次産業化事業計画認定者との意見交換会(香川県)

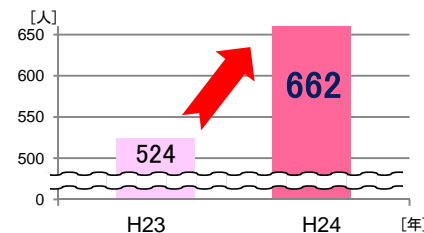


とくしまアグリビジネススクール

【農業生産法人数】  
**15法人増加** H24.1→H25.1



【新規就農者数】  
**138人増加** H23→H24

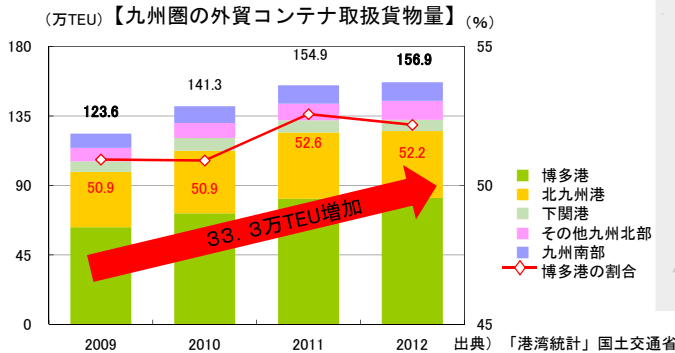




# <中間評価(平成21年度から平成25年度までの達成状況)>

九州圏では、東アジアへのフロントランナーとして発展を目指し、東アジア等へのゲートウェイ機能の強化として、博多港において国際海上コンテナターミナルの整備の進捗等により、外貿コンテナ取扱貨物量が増加。また、東アジア、近畿圏以西と九州圏内の主要都市と高速交通を可能とする九州新幹線が全線開業し旅客数が大幅に増加。

外貿コンテナ取扱貨物量は  
**33.3万TEU増加** H21→H24



九州新幹線の全線開業により  
旅客数が**244万人増加** H21→H24



# <平成25年度 広域地方計画の推進状況>

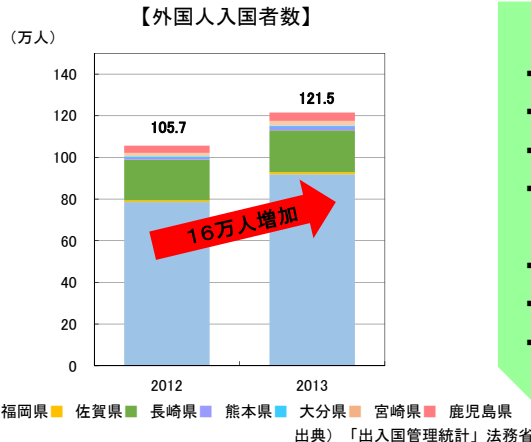
九州圏では、九州圏が一体となって「観光アイランド・九州」として、成長するアジアのマーケットの観光客を取り込み、観光需要の喚起、消費拡大を通じて九州地域経済の活性化を推進。

(戦略目標の一例)

◆東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成

外国人入国者数  
**16万人増加** (H24→H25)

過去最高の121万人を記録



【平成25年度 具体的取組】

- ・ M I C E 誘致促進事業の実施
- ・ 観光列車の運行開始
- ・ 東南アジア諸国と国際交流覚書の締結
- ・ 九州学を中心とした国際的な学術研究都市の形成
- ・ 外国人にも暮らしやすい環境整備事業
- ・ 福岡空港における国際路線の誘致
- ・ 広域的な連携による国際的な観光ルートの形成促進 など

## 【各圏域の平成25年度の広域地方計画の推進状況HP】

各広域ブロックの広域地方計画の推進状況・中間評価等の詳細については、以下のHPを御覧ください。

東北圏 <http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/followup/followup.html>

首都圏 <http://www.ktr.mlit.go.jp/chiiki/kokudo00000050.html>

北陸圏 <http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/kokudo/suishinjoukyou.html>

中部圏 <http://www.cbr.mlit.go.jp/kokudokeisei/index.htm>

近畿圏 [http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/data/2014/pub\\_20140930/index.html](http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/data/2014/pub_20140930/index.html)

中国圏 [http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/kokudo\\_keisei/joukyou.htm](http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/kokudo_keisei/joukyou.htm)

四国圏 <http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kokudokeikaku/index.html>

九州圏 <http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/02torikumi/index2.html>